

佐渡市所管地押調査更正地図の調製状況とその特徴

Research Notes

堀 健彦

はじめに

伝来の経緯から区別する場合、地籍図は三つに分けられることが指摘されている⁽¹⁾。法務局保管のもの、市町村役場の税務関係のもの、地元の旧家や区有の文書として残されたものの三種である。本稿では、各市町村役場の税務部署に保管されていた佐渡島の地籍図、とりわけ地押調査更正地図の概要とその特徴について報告する。

筆者は、平成一二年、平成二〇年、平成二一年に佐渡島の地籍図を閲覧・調査する機会を得た⁽²⁾。特に平成二〇年以降は島全体の明治期地籍図の調製状況を明らかにすべく、調製年、製図者、地主惣代、村長のデータを中心に検討してきた（別表1、2）。その結果、佐渡市保管の地籍図のほとんどは、地押調査更正地図であることが確認できた⁽³⁾。ただし、少数ではあるが地租改正地引絵図等も保管されている⁽⁴⁾。よって、佐渡市保管の明治期地籍図を総称する場合には地籍図と称し、地租改正地引絵図については地租改正図、地押調査更正地図については更正図と称したい。

以下、第1章では、佐渡市における地籍図の保管と遺存状況の概略を

述べる。第2章および第3章では、佐渡市の更正図の特徴を論じる。第4章では、島最大の都市であり、更正図の調製状況において特異な地域となっていた相川町地区を取り上げて、興味深い事項を指摘したい。

① 佐渡市における地籍図の保管

(1) 佐渡市保管地籍図の所在

平成一六年三月一日に佐渡島内の一〇市町村が新設合併を行い、佐渡市が誕生した。平成二一年現在、佐渡市の地籍図は旧市町村毎に合併前の市町村役場および一部の支所（現出張所）で保存・管理されている。

佐渡島内における地籍調査の進捗と地籍情報の電子化の進展に伴い、本庁舎（佐渡市発足後は支所等として存続）に移管されていく傾向がある。平成二一年五月現在、旧本庁舎以外で更正図を保管するのは旧相川町高千支所（佐渡市高千連絡所）のみである。

(2) 更正図の保管状況

佐渡市の地籍図は、合併前の市町村ごとに保管方法、遺存状況が大きく異なる。

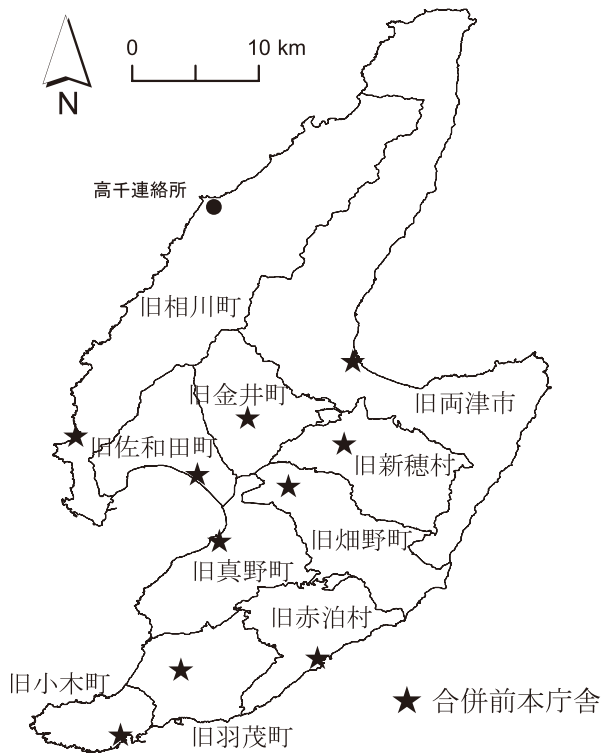


図1 佐渡市の概要

旧両津市域では大正期に更正図が修補された地区がある。中でも使用頻度が高かったであろう両津の夷町地区については、昭和三六年に再度、謄写図が作製されている。

旧金井町のもとは一枚ごとに裏打ちが施され、同一寸法の冊子に綴じられた状態で保管されており、良好な状態にある。

佐渡島の平野部では比較的早い段階で圃場整備事業が行われた。これにより地割の大幅な変更があった地域の更正図は使用されなくなったため、状態が良いことが多い。

対して山間部を含む地区の更正図のうち、使用頻度が高かったものは破損が目立つ。

状態の悪い図は早急に修補が必要だが、佐渡市では地籍情報の電子化がほぼ完了しており、明治期の図は完全に本来の任を終えている。歴史資料として評価し修補を行う必要がある。

(3) 正本と副本の管理と使用

旧小木町域では正本と副本の二冊が保管されている地区が多い。副本の方は注記や筆界変更などが書き込まれており、常用されることが分かる。正本は袋にまとめて一括保管されており、状態は極めて良い。

旧畑野町の中心市街地であった畑本郷と畑方の更正図も正本と副本が残る。両地区は入り交じりが激しく、冊子体の切図では土地の所在が確認しがたかったためか、一方を冊子体のまま保管し、他方を切り貼りして超大判図としている。

他にも正本と副本のように複数冊子が遺存する地区は存在するが、正本の方が概して遺存状態が良好である。けれども、両方が日常的な閲覧に使用されたため、両方とも劣化が進んでいる地区も存在する。

② 佐渡島における明治期更正図の調製状況

本章では別表1および2に基づいて、佐渡島における明治期更正図の調製状況を整理していきたい。

(1) 調製時期

図2は、現存する明治期更正図の調製時期を示す。ただし、年表記がない地区は集計に入れていない。また、作業が複数年にわたる場合や修補された場合などのように、年表記が複数ある場合は個々に数えた。図2が示すのはあくまに過ぎないものの、明治二〇年代初頭に集中していることが明瞭である。例えば、相川町地区(旧相川町)では明治二一年に集中的に調製されている。相川町地区以外の全島でみた場合、明治二三年がピークとなる。その後、急激に減少し、明治三〇年代にはほとんど調製されていない。

(2) 調製単位
佐渡市保管の地籍図は、基本的に大字単位で調製されている。大字は明治二一年から二二年にかけての町村合併で消滅した村を単位として編成された。更正図は大字毎に一冊に綴じるか、分冊されて管理されている。山間地のみを別冊子とした地区もある。
その中で旧真野町の旧小布施地域の更正図は、大字よりも古い段階の単位である江戸後期の天保郷帳の村ごとに調製がなされており、特異な

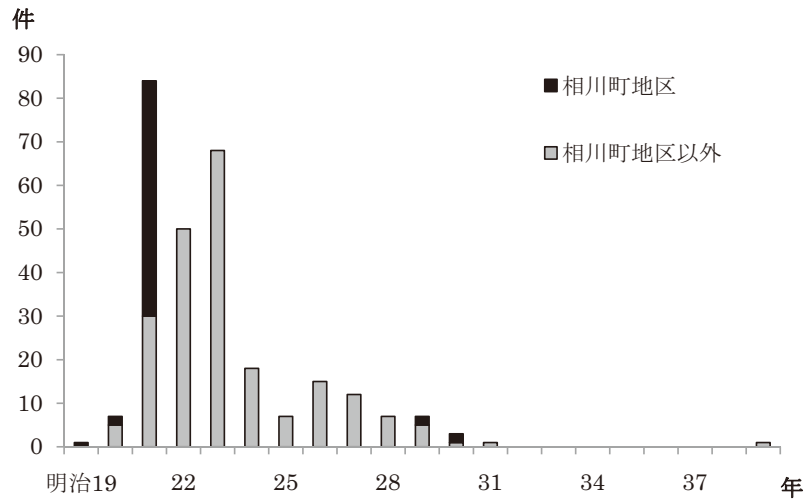


図2 明治中期佐渡島における更正図の調製

図3 八幡村三十四番濱袋九枚ノ内第六号

図4 金泉村大字下相川拾二番小木袋拾二枚ノ内八号

存在となっている。
また、相川町地区は、更正図作製の段階では、町を構成する七三町それぞれが大字とされていた。従って調製単位は各町となるが、過半を二名の製図人が調製しており、町全体で作製が計画・実施されたと考えられる。
全図については大字単位で作製されたものと村を単位として作製されたものの両方が存在している。いずれも縮尺三〇〇〇分の一であるが、残されている地域は多くない。
③ 佐渡島更正図の体裁と関係者の検討
(1) 体裁
図3および4は、佐渡市保管の一般的な更正図である。道路を朱色、水路を水色で彩色している。畦畔は朱の破線で表現されており、柵田のような状態の場合は、図4の中央部にあるように、朱の破線が重ねられて柵田斜面が表現されている。これ以外は基本的に無彩色である。
図3と4は、描かれた地域や時期、製図者が異なるにもかかわらず似

た体裁となっている。地押調査に際しては、明治二〇年の『町村地図調製式及更正手続』『町村製図略法』などにより図の体裁や作成方法に関して統一の基準が国から示されており、⁽⁷⁾体裁の統一が取られている。

(2) 文字表記

表題のほか、調製年、製図者名、地主惣代名、村長名が記されるのが通例である。図によりいくつかの要素を欠くものもある。表題は「金泉村大字下相川拾二番小木袋拾二枚ノ内八号」のように、地区内での通番と字名により構成されるのが一般的である。字の単位を〇〇袋と呼称する例は佐渡各地で確認できる。

調製年は年月のみの記載が最多だが、年のみの記載も多く、年月日まで詳細に記載された図も存在する。

地番と地目が黒色で記入され、土地の等級が朱色で記入されている。縮尺は、「曲尺壹分ヲ以テ壱間トス」とあるように約六〇〇分の一である。

(3) 地主惣代の署名・捺印のあり方

更正図の内容を裏打ちするための地主惣代や村長の署名・捺印は、地区・図ごとで有無が異なる。地主惣代の呼称を「区長」「担当者」「担当委員」と称する地区も存在する。

惣代人数が一名の地区もあれば、複数の地区もある。また、図により惣代が替わる地区もある。旧新穂村の安国寺地区のように地主惣代と製図者とを兼ねる事例も存在する。地主惣代の記載内容は、地区ごとの有力者を知る上で有効な資料となり得るものであるが、分析については割愛する。

(4) 製図者の存在形態

製図者も地主惣代同様に、一名で地区全てを担当するケース、複数人

表1 主な製図者の居住地

製図者名	住所記載
市橋栄吉	吉井村大字大和
山本泰蔵	金沢村大字新保
三浦公明	加茂郡吉井村共営社員
遠藤徳平	(真野村)大字大川
尾竹樫吉	新潟区学校町
岡田貞吉	中蒲原郡白根町
柳川権左右	西蒲原郡矢作村大字矢作第85番戸
野口善七	中頸城郡瀧寺村
沼上貫一	中頸城郡高田中中殿町, 中頸城郡高城村
榊谷国松	三島郡寺泊町
中野信多	古志郡長岡本町
藍原儀八 ▲	
市橋栄吉 ◇	
岡田貞吉 ⊕	
尾竹樫吉 ×	
沼上貫一 +	
野口善七 ≡	
山田喜一郎 ◆	
山口茂吉 ○	
山本泰蔵 ★	

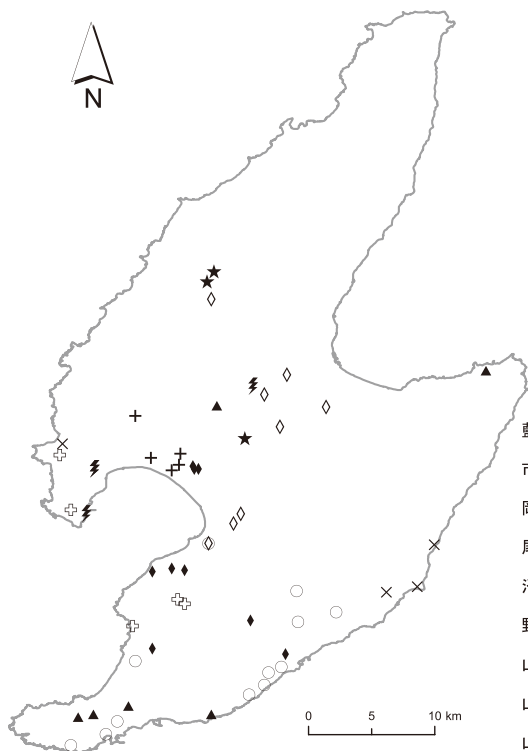


図5 主な製図者の活動範囲

で製図を分担するケース、図毎に製図者が替わるケースなど、多様である。

例えば旧相川町の石花地区の製図者の場合、複数人が図毎に入れ替わっているが、永野武平、本間梅吉、山本泰蔵の三名については居住地が記されている。

永野武平や本間梅吉は他地区では名が見えず、居住地である石花の作業のみに従事していたと考えられる。

山本泰蔵は、居住地である新保（旧金井町）のほか、石花とそれに隣接する後尾で製図を行っている。新保と石花・後尾は比較的離れているが、大佐渡山地を挟んだ反対側にあたる。村落間の交流を背景として製図者として石花・後尾に赴いたと推定できよう。

複数地区の製図者となっている主な人物の居住地を表1に掲げた。図5は地区数が多い者の製図地区を図化したものである。大和（旧金井町）の市橋栄吉は、居住地や隣接する安養寺（旧金井町）のほか、旧相川町の北片辺、旧真野町の竹田、吉岡、真野、旧両津市の長江、潟端と広範な活動の足跡を確認することができる。

一方で島外者が製図を担当することも多い。表1は島外居住者についても掲載した。新潟（学校町）や長岡（本町）、高田（中々殿町）など新潟県の主要都市やその近傍から製図者が来ており、新潟県外は見えない。

島外からの製図者は島内各所で活動している者が多い。例えば新潟区学校町の尾竹樸吉は、下戸（旧相川町）、河内、多田（旧畑野町）、東鷯嶋（旧両津市）の四地区で調製している。

島外者はいかなる背景のもと、佐渡島の更正図を調製することになったのであろうか。この点を考える上で旧赤泊村の三地区の製図者である榎谷国松は興味深い。榎谷は、赤泊と本州との連絡航路の本州側の港町であった寺泊在住である。航路の存在により示される両地域間のつなが

りを背景として製図者が呼ばれていたと考えられよう。

以上から製図者は、居住者から任に当たりうる人を選んで充てるのが一般的であったこと、適当な人材が居ない場合や作業量が膨大なため人手が足りないところでは、隣接地域や関連が深い地域から適当な人間を呼び寄せて作業をしていることが推測できる。

製図者は、政府からの体裁や作業方法に関わる詳細な指示を理解した上で、図面の調製にあたっていた。このような製図者は、いかなる社会的な立場にあったのだろうか。それに関して、相川町の製図に当たった杉山熊太郎について興味深い事実を知ることができる。杉山は、明治二七年に高千村（旧相川町）の高千青年学会の代表をつとめた人物であった。^⑧

なお、図面の巧拙に関しては、島内島外問わず、比較的離れた場所にある複数の旧町村の更正図を調製している、専門的であろう製図人による図の方が判型の統一が見られ、線の太さも安定的な傾向がある。

④ 相川町地区における更正図の作製とその特徴

本章では、明治期の佐渡最大の都市であり、更正図作製の段階で町を構成する七三町それぞれが大字とされていた相川町地区の更正図に注目し、その特徴を紹介したい。

（一）更正図作製の進展と体裁の不統一

相川町地区の更正図は一冊に綴じられた状態で保管されている。表紙には「相川町字図」とあるが、新しい時期に付けられたものである。

表紙裏に貼り付けられた目次の欄外には、一町目浜町、四町目浜町、新浜町^⑨、広間町、勘四郎町、銀山町の六地区の図面が未提出であると記されている。一町目浜町と四町目浜町は目次欄末に追記されており、遅れて提出されたと考えられるが、四町目浜町の図面は現存しない。また、

下山之神町と海士町の更正図が目次には載っていないが綴じられている。海士町は、町の規模や歴史は他の相川町地区の大字と変わらないものの、明治二二年に相川町と合併した町である。よって目次作製は合併以前に行われたと考えられる⁽¹⁰⁾。

当初、未提出であった一丁目浜町の図(図6)は、最古の調製年となる明治一九年九月のものである。道路の赤、水路の青以外の彩色がされていない更正図とは異なり、地種ごとに彩色が施されている。一丁目浜町は他町のように新規に図を調製するのではなく、以前に作製した丈量絵図をもって地押調査に基づく更正地図に充てたと考えられる。明治二〇年八月の柴町の図も同体裁であり、同様の事情が推測できる。

明治二一年七月作製の夕白町(図7)や弥十郎町の図も佐渡島の一般的な更正図とは異なる彩色が施されている。ただし、一丁目浜町、柴町の地籍図の宅地は彩色されていないのに対して、これらは宅地を黄色に

図6 雑太郡相川壱丁目濱町丈量絵図

図7 夕白町更正図

彩色しているという違いが存在する。

このように旧相川町地区は他の地域と異なり、図の体裁に不揃いが目立つ。相川町地区を構成する町が個々に大字とされていたことを一因としてあげることができよう。

図8 雑太郡相川北澤町全図



図9 明治期更正図で描かれない区域

(3) 明治期更正図が存在しない区域と鉾山局用地
旧相川町地区には更正図が存在しない区域がある⁽¹¹⁾。また、図8の北澤町のように、町の規模に比べ描かれている範囲が本来の町域の、ごく一部に限定されている町もある。

このような状態の更正図は、図9に示すような坂下町、北澤町、下山之神町、弥十郎町、夕白町、大工町、諏訪町、庄右衛門町のものである。これらは、図が提出されなかった勤四郎町を含めて、北澤と呼ばれる谷

筋に連続的に存在する。

更正図が存在しないか、存在してもごく一部のみの町は、明治期金銀山の生産施設が存在する地域であった。明治期の金銀山は皇室に属する鉱山局用地となっており、課税のための図である更正図の描画対象外であったのである。

同様の理由から、佐渡金銀山の象徴とされる道遊の割戸付近も更正図では描かれない。このように更正図が残っていないこと自体が、相川金銀山の歴史的な経緯と深く関わっていたのである。

おわりに

佐渡の国中平野は戦後の米軍の空中写真撮影以前に圃場整備が行われており、更正図は歴史的景観を復原する上で必要不可欠である。相川や小木のような歴史的な町並みの変化に関しても、他の時代の絵図・地図と更正図、さらには現況とを比較検討することが可能である。ほぼ全島分揃っている更正図は、歴史的な重層性をもった佐渡の景観変遷を明らかにするための基礎資料として重要であり、今後はこれを活用した調査・研究が求められる。

〔付記〕

閲覧・調査に際しては、佐渡市の関係各位に大変お世話になりました。記して御礼申し上げます。

なお、本稿のうち、相川および近隣地区は、平成二〇年度新潟県「知の財産」活用事業「佐渡金銀山世界遺産登録に当たってのまちなみ調査と整備・活用の提言」事業の調査委託成果による。相川以外の地域は、平成二〇～二一年度科研費（挑戦的萌芽研究 20650034）「佐渡歴史空間アーカイブの構築にむけた基礎資料の作成」の成果による。

註

- (1) 佐藤甚次郎「明治期作成の地籍図」古今書院 一九八六年、同「公園―読図の基礎」古今書院 一九九六年など
- (2) 拙稿「佐渡国中平野の条里地割分布に関する研究の現状と基礎資料の遺存状況」『佐渡・越後文化交流史研究』二二・二〇〇二年
- (3) 壬申地券地引絵図、地租改正地引絵図、地押調査更正地図などが明治期作製の代表的な地籍図としてあげられる。
- (4) 小木行政サービスセンターには明治九年の地租改正図が保管されている。また、地籍図ではないが、松ヶ崎連絡所には文化年間の石井夏海の指導によるとされる村絵図が保管されている。
- (5) 両津市、相川町、佐和田町、金井町、新穂村、畑野町、真野町、小木町、羽茂町、赤泊村の一市八町九村である。以下、地区名表記の際は、原則として平成合併以前の旧市町村名を併記して地区のおおよその位置を示す。
- (6) 前掲註2
- (7) 前掲註1
- (8) 石瀬佳弘「明治中期における青年の研修活動と佐渡学会連合会」佐渡伝統文化研究所年報二〇〇六年度版 二〇〇八年
- (9) 新浜町の名が町名につくのは、一丁目から四町目の各新浜町のみである。一丁目から三町目は現存するので、未提出の新浜町とは四町目新浜町と推測できる。
- (10) 下山之神町は相川町地区の一大字であり、単純な脱落であると考えられる。
- (11) 他には旧両津市の大川、旧畑野町の河内、扶田、三宮、旧相川町の姫津の更正図が確認できない。
- (12) 前掲註2

(新潟大学人文学部、国立歴史民俗博物館共同研究協力者)
二〇一〇年九月二八日受付、二〇一〇年十一月三〇日審査終了

別表1 佐渡市所管更正図一覧

自治体変遷			大字	作製年	製図者	地主惣代	村長等	備考
平15	昭28	明22						
相川町	相川町	二見村	二見	明治24年7月	野口善七	平藤嘉吉, 古藤亀太郎	藤澤維寶	
			米郷	明治22年2月	金子市郎	渡邊嘉十郎, 金子寿作, 坂口惣十郎	藤澤維寶	
			稲鯨	明治22年11月	岡田貞吉 (中蒲原郡白根町)	岩崎佐吉	中川亀藏	
			橘	明治22年8月8日	矢嶋東作 (五十里町)			
			高瀬	明治22年2月	金子市郎			
			大浦	明治23年	小泉信 (五十里町字籠町)	中川忠藏	藤澤維寶	
			鹿伏	明治22年12月	岡田貞吉			
	相川町	下戸	明治21年	尾竹樞吉, 遠藤伝次, 野口熊次郎, 平井貞光 (以上 新潟区学校町)	林与平		石井秀二郎 (相川町助役)	助役署名は後筆
		海士	別表2					
		羽田	明治21年	風岡宇吉	風岡弥平		石井秀二郎 (相川町助役)	助役署名は後筆
		相川73ヶ町	別表2					
	金泉村	金泉町	下相川	明治23年9月	杉山愛三	中村勘四郎, 播磨弥太郎	本間佐内	
			小川	明治20年	吉田銀十郎	渡邊作平, 菊地甚藏	本間佐内	全図あり (3000分の1, 明治22年9月調製)
			達者	明治24年3月	中野信多 (古志郡長岡本町)	三浦岩藏, 本間伝藏		全図あり (3000分の1)
			姫津	所蔵不明				
			北狄	明治20年	吉田銀十郎	北見倉次郎, 北見長五郎	本間佐内	
	北海村	北海村	戸地	明治20年	吉田銀十郎	三浦国藏, 金津紋四郎	田中善藏	北海村全図あり (3000分の1)
			戸中		渡邊孫作, 中野信多, 今井角治 (大字姫津)	中堀市太郎, 古土源五郎	田中善藏, 今井唯次郎	
			南片辺	明治22年1月	戸田清之助	寺尾増藏, 平城文藏	田中善藏	
			北片辺	明治23年2月	市橋栄吉	北条辰藏, 北山平吉, 斎藤文藏	田中善藏	
			石花	明治22年12月	山本泰藏 (大字新保), 永野武平 (大字石花), 本間八十吉, 山本利喜藏, 本間梅吉 (大字石花)	田中甚吉郎, 佐田利喜藏	田中善藏	
			後尾	明治23年7月	山本泰藏			
	高千村	高千村	北河内	明治21年11月, 10月	山本亦藏, 近藤伊之造	田中弁藏	斎藤佐内	
			北立島	明治23年7月	柳下健藏, 平井彦三郎, 新保吉三郎	室岩与次郎		
			入川	明治23年11月	武内清藏	立野仙次郎	斎藤佐内	
			高千	明治23年11月, 明治26年4月	新保吉三郎, 白井熊雄, 稲場佐市, 武内清藏	滝下平吉, 大谷忠藏, 中濱兼松	斎藤佐内	
			北田野浦	明治23年11月	加藤銀二, 新保吉三郎	濱村久吉	斎藤佐内	
			小野見	明治23年7月	稲場佐市	大谷忠藏	斎藤佐内	
			石名	明治20年	前田長太郎	土屋佐伝次, 辻八郎, 神崎周藏	斎藤佐内	
	外海府村	外海府村	小田	明治23年, 明治23年7月, 明治25年8月, 明治20年	稲場佐市	池平左衛門	田上績	
			大倉	明治23年7月	板垣万五郎	菊池長藏, 梶原龟次郎, 梶原平藏	田上績	
			矢柄	明治23年4月, 明治21年10月	市橋栄藏, 堀江梅吉	石地友次郎	田上績	明治35年1月訂正で製図者新保吉三郎, 総代森下米吉のものあり。大正5年12月の総代三島八十吉の図あり。
関			明治23年10月	堀江梅吉	宮下六藏	田上績		
五十浦			明治23年11月	前田長太郎, 田中善次, 田中善二郎	川辺留次	田上績		
	岩谷口	明治22年11月	品川富士松	北澤半平	田上績			

佐和田町	沢根町	沢根町村	沢根村		野口善七	真藤林平, 佐々木久右衛門, 佐々木音吉, 畑福新三郎, 山本金一郎, 山本金太郎, 式部作蔵, 式部由蔵, 中村与四蔵, 山本彦平	山本兵三郎	沢根町村全図 (3000分の1) あり	
			沢根町	明治22年7月	野口善七	青野半五郎, 金子芳太郎	山本兵三郎		
		五十里町	五十里籠町	五十里	明治23年12月12日	小泉熊太郎	水上多作		
			五十里	明治25年6月	金沢善賢, 村田万七, 小泉熊太郎 (朱線抹消)	加藤長次郎, 末武弥三吉, 本間喜十郎, 伊藤林蔵, 中川立平, 土屋鷹蔵	末武久次		
		五十里炭屋町	窪田	明治23年12月	小泉熊太郎	紀伊平			
		野田村	青野			加藤惣一郎, 茨城五郎, 稲場栄蔵, 小林安三郎, 茨城九郎次, 武蔵伊太郎	北岡源左衛門 (助役)		
			山田	明治26年12月	沼上貫一 (中頸城郡高城村), 伊藤与文次	加藤惣一郎, 茨城五郎, 稲場栄蔵, 小林安三郎, 茨城九郎次, 武蔵伊太郎, 片岡源左衛門, 菊地多蔵, 高野清蔵, 内藤松太郎, 高野清十郎, 丹保彦磨, 高野幾蔵, 打越俊蔵, 上坂千代松, 富田与左衛門	小杉忠三郎	調製年は山の地籍図のもの。それ以外には作製年記載なし	
	二宮村	二宮村	二宮村	二宮村	明治22年3月, 明治26年12月	沼上貫一, 伊藤与文次, 上野巳之吉	本間又平, 林吾市, 大谷治之蔵	小杉胤次	全図 (3000分の1, 明治25年7月訂正, 製図者伊藤与文次) あり
			真光寺	明治26年12月	本間章, 北守賀寿摩, 齋川弥平, 伊藤与文次	金田龍蔵, 仲島泰蔵, 藤井吉蔵, 奥善吉, 古林勘十郎, 太田万平, 小山宇吉, 本間権七	本間久太郎		
		二宮村	上長木	明治23年10月	山田喜一郎	尾崎謙次郎 (区長)	本間久太郎		
			下長木	明治23年10月	山田喜一郎	伊勢川清蔵 (区長)	本間久太郎	全図 (3000分の1, 明治21年11月) あり。	
			上矢馳	明治23年11月	山田喜一郎	土屋長四郎 (区長)	本間久太郎	全図 (3000分の1, 明治21年11月) あり。	
石田			明治25年	沼上貫一, 河野徳次	渡邊重蔵, 近藤吉左衛門, 名畑清次郎, 近藤頼蔵, 名畑喜市		全図 (3000分の1, 明治22年4月) あり。		
市野沢			明治23年12月	伊藤与文次	遠藤作太郎, 本間銀蔵	稲葉鶴蔵			
中原			明治23年12月	沼上貫一 (中頸城郡高田中殿町)	矢田秋世, 近藤仲蔵, 近藤兼蔵, 市川源六, 近藤善吉	佐々木宅蔵	村長署名は明治26年11月。全図 (3000分の1) あり。		
河原田町	川原田町	川原田町							
	川原田諏訪町	明治29年1月		伊藤藤三郎, 渡部利三郎	近藤久右衛門				
八幡村	八幡村	八幡村			後藤半助				
		八幡町	明治21年8月	関川善吉					
		八幡新町	明治27年5月	村岡太一郎					
金井町	平泉村	平清水	平清水	明治22年2月, 明治23年	齋川弥平, 米津作蔵, 本間章,	城鳥久蔵			
		泉	明治24年3月	吉田銀十郎	北見権平, 佐々木三十郎, 北條八十八	北見新平			
	金沢村	中興	明治22年8月, 明治23年8月, 明治23年9月	藍原儀八, 近藤猪蔵, 池与作, 堀完治	計良藤四郎		植田五之八		
		千種	明治23年12月	浅嶋万平, 本間忠吉	清水与平, 上杉弥平次, 安田吉平	植田五之八			
		新保	明治23年, 明治26年	山本泰蔵	近藤文蔵, 片山西蔵, 川原慶太				
		貝塚	明治23年8月	中川喜八	大崎亀蔵, 大蔵広吉, 石川孫三郎, 川上愛蔵, 野潟平作				
	吉井村	吉井村	大和	明治23年11月, 明治25年3月, 明治26年3月	市橋栄吉, 加藤易三, 北見賢治, 田上清三郎	加藤松蔵, 本間吉十郎	長野三忠		
			安養寺	明治23年12月	市橋栄吉 (大字大和)	仲川弥市郎, 須藤栄蔵	長野三忠		
			吉井本郷		野口善七 (中頸城郡瀧寺村)	柳駕八十八, 関根角次, 迎町弥五郎	長野三忠		

金井町	吉井村	吉井村	吉井	明治23年4月	三浦公明(共営社員)	山崎文五郎, 逸見与三次, 浅倉藤三郎	長野三忠	
			水渡田	明治23年	安藤五作(大字吉井?)	岩井甚三郎		
			三瀬川					
新穂村	新穂村	長畝村	長畝	明治23年7月	河原春樹	荷上典三兵衛	佐藤市之丞	
		潟上村	潟上	明治22年12月	渡邊増蔵, 白井文一	高野豊吉	菊地小市	
		田野沢村	田野沢		岩田浅二郎	山本玉次郎	池田平左衛門(助役)	
		正明寺村	正明寺	明治22年12月, 明治23年1月	星井恭一郎	山本弥市郎	菊地小市	
		新穂村	青木	明治26年12月	吉井半右衛門	安部文太郎	引野勝次郎	
			瓜生屋	明治24年4月	高野藤作(大字瓜生屋), 霍間新平, 霍間文蔵, 高野菊蔵, 霍間豊作, 古藤藤吉	霍間三良平	引野勝次郎	
			井内		本間二作, 土岐熊次郎, 石井宇吉, 石井義松	黒部勝太郎, 石井利平治, 末武甚平, 後藤与八		
			上新穂	明治26年12月	吉井半右衛門	安部文太郎		
			下新穂		河原貴作	近藤甚七, 影山大蔵, 土屋覚十郎		
			新穂		菅沼彦司	渡邊扶二, 高野喜八郎, 本間幸作		
			北方	明治24年7月	市橋長三郎(大字北方)	原田清作		
		大野村	大野	明治22年12月, 明治23年7月	金子長作, 林繁, 本間永吉, 土屋純平, 鳥井嘉蔵, 清水磯右衛門, 市橋虎蔵, 酒井平吉, 中川仁吉	金子長作	酒井平吉	
			武井	明治23年	田辺孝吉	土屋治左衛門	酒井平吉	
		国中村	舟下					
			皆川	明治21年5月	雑賀与七郎, 金子幸次郎, 磯邊孫二郎			
畑野町	畑野村	目黒	明治26年8月	生田左源次(大字目黒)	中川佐平次			
		安国寺	明治26年4月	本間岡三郎, 佐藤吉十郎, 本間長治郎	本間岡三郎, 佐藤吉十郎, 本間長治郎			
		寺田	明治23年10月	加藤三蔵, 間浅治	信田空蔵, 渡部国蔵	本間藤七		
		河内	明治29年1月, 明治31年3月	新井忠作, 木島耕山	小野若蔵, 羽生徳五郎	山本伝十郎, 広田直雅		
		畑方	明治31年3月	今井貞治, 原太市, 高野周蔵, 中川大吉, 熊谷長左衛門, 本間貞治	中川大吉, 本間貞治, 高野周蔵, 熊谷長左衛門			
		畑本郷		金子太郎平, 小田泰蔵, 本間喜七郎, 熊谷与右衛門, 中川源平	金子太郎平, 小田泰蔵, 熊谷与右衛門, 小田助左衛門, 中川源平, 本間喜七郎			
		栗野江村	栗野江					
			坊ヶ浦	明治23年10月	加藤忠蔵	本間六蔵	計良茂左衛門(村長代)	明治28年9月に, 製図者池野平八郎, 地主総代本間半五郎, 村長代理助役土屋泰治により補訂がなされたか
		小倉村	長谷	明治24年11月	池野平八郎	谷川東平	中村重蔵	
			小倉	明治24年, 明治24年11月, 明治27年4月, 11月	木嶋百蔵, 酒井珠津	中村重一郎, 余吾伝次郎, 青木信次郎, 藤原寅蔵, 中村仲蔵, 平田金内, 余湖親蔵, 林泰蔵	中村由蔵, 中村重蔵	
			猿八	明治29年1月	菅沼彦司	田中武平次, 本間芳蔵, 大森邦蔵(担当者)	猪股力蔵(助役)	
		三宮村	大久保	明治23年10月	金子市郎, 木島耕山	大森五一郎(区長)	山本伝十郎	
			宮浦	明治29年1月	新井忠作	城内千代吉	山本伝十郎	同じもの2冊あり

畑野町	畑野村	三宮村	麴田	所在不明					
			三宮	所在不明					
	松ヶ崎村	松ヶ崎村	丸山	明治22年4月	柳川権左右（西蒲原郡矢作村大字矢作第85番戸）	細木伝十郎			
			河内	明治28年9月	尾竹樫吉、柳川権左右	計良長太郎			
真野町	真野村	金丸村	多田		尾竹樫吉				
			松ヶ崎	明治27年6月	柳川権左右	渡部萬次郎、青木長三郎			
			金丸	明治22年9月、明治29年	新井忠作、本間桂治、近藤猪蔵				
		真野村	真野村	四日町	明治22年10月、明治23年5月	三浦公明（共営社員）	曾我吉十郎、金子長太郎、菊地寅蔵、白木兼蔵		
				長石	明治21年7月	北見賢治	逸見権左衛門	若林善一郎	
				阿仏坊	明治27年12月	池野平八郎	鈴木善八、鈴木善蔵、羽生英三、中川宇平、本間惣治、土屋倉吉		
				竹田	明治27年12月	市橋栄吉	鈴木善八、鈴木善蔵、羽生英三、中川宇平、土屋倉吉、本間惣治	石塚芳太郎	
				大川	明治23年8月、明治27年12月	遠藤徳平（大字大川）	小田惣太良、長野長右衛門、遠藤徳平	高野平太良	
	国分寺	明治28年8月、12月	遠藤徳平	若林庄蔵、長野與市良	石塚芳太郎				
	名古屋	明治23年10月、明治27年10月、12月	遠藤徳平	本間源太郎					
	吉岡	明治23年10月、11月、12月、明治25年3月、明治27年12月、明治28年5月、6月、12月	遠藤徳三、加藤易三、市橋栄吉、長野治作、田上清三郎、遠藤徳平						
	真野	明治25年3月、明治30年8月	市橋栄吉、山口茂吉	鶴間兵左衛門、長権太郎、石塚芳太郎					
	新町	新町	新町	明治23年10月	金子栄吉	山本彌次平	山本藤右衛門		
			豊田	明治23年12月	金子市郎	高橋繁蔵	松本八十八		
	恋ヶ浦村	恋ヶ浦村	滝脇	明治24年1月	白杵作次郎	計良國蔵			
			背合	明治23年12月	山田喜一郎	滝口儀平	松本八十八		
川茂村	川茂村	下黒山	明治22年2月	今井作次郎、今井宗次郎	金子秋麿	風間安右衛門			
		静平	明治21年12月	有田田六（大字羽茂本郷）	印銀儀平、金子清三郎、倉内庫蔵	風間安右エ門			
		大須	明治23年9月	山田喜一郎	金子小十郎	佐々木甚太郎			
		小立	明治23年9月	山田喜一郎	金子小十郎	佐々木甚太郎			
西三川村	小布施村	倉谷							
		田切須	明治23年11月	佐々木俊平	佐々木駒吉	佐々木甚太郎			
		笹川	明治24年10月	岡田貞吉	山本年松				
		西三川	明治24年10月	岡田貞吉	笹井吉十郎	佐々木甚太郎			
		高崎	明治24年10月	岡田貞吉	中川三七郎	佐々木甚太郎			
		龜ノ背村	椿尾	明治21年12月	山崎藤太郎、今井作次郎、岡崎林蔵、安藤惣六	高野国松	安藤真吉		
小木町	小木町	小比叡	明治22年5月	藍原儀八、近藤猪蔵	金子三吉	赤塚左一郎	地租改正図あり		
		堂釜	明治21年7月	金子音吉、金子助九郎、金子周蔵	金子伊津三	赤塚左一郎			
		井坪	明治21年10月	藍原儀八	佐藤兵衛	赤塚左一郎			
		大浦	明治21年12月	藍原儀八、池与作	本間四郎左衛門	赤塚左一郎			
		木流	明治21年	金子助九郎、富田部	大倉後藤平	赤塚左一郎			
		木野浦	明治21年7月	山口茂吉	中野尾仲次郎	赤塚左一郎			
		小木町	明治28年10月	山口茂吉	桃井清平、菊地作兵衛	増山寛二郎	地租改正図あり。字上野について別冊。		

小木町	小木町	岬村	小木	明治21年5月	桃井由蔵	風間乙吉	石塚彦左衛門		
			琴浦		会田節太郎	石塚小八郎	石塚彦左衛門		
			金田新田	明治21年11月	風間壽平	笠木甚兵衛	石塚彦左衛門		
			田ノ浦	明治21年5月	東齋之進	本間富蔵	石塚彦左衛門		
			江積	明治21年7月	金子助九郎	本間権四郎	石塚彦左衛門		
			沢崎	明治22年1月	濱田七蔵, 本間弥吉				
			深浦	明治21年12月	風間壽平	佐久間繁蔵	石塚彦左衛門		
			犬神平	明治21年12月	風間壽平	青木庄兵衛	石塚彦左衛門		
			強清水	明治21年12月	風間壽平	本間三郎平	石塚彦左衛門		
			宿根木	明治21年5月	山口茂吉	高津嘉左衛門	石塚彦左衛門		
羽茂町	羽茂村	大橋村	三瀬	明治21年11月	山本元治郎, 藍原儀八, 本多豊見, 荒木栄吉	磯田栄蔵, 石塚藤三郎(飛地分)	河野勘太郎	飛地冊子あり	
			大石		会田節太郎	堀切仙蔵	河野勘太郎		
			大橋	明治22年1月	山田源蔵, 金子浅治郎, 中川乙八, 春日弁治郎, 河野勘太郎, 海老名十重吉, 中川伊勢蔵, 藤井徳平	三浦宇吉	山田宅蔵	村長は後筆か。飛地冊子あり	
	羽茂北郷村	千手村	羽茂本郷	明治22年12月, 明治23年9月, 10月, 11月, 12月	荒貴栄吉, 北嶋佳樹	藤井久五郎	駒形直清		
			飯岡	明治21年5月, 明治22年1月	伊藤忠次郎, 金子小十郎, 藤川鉄蔵, 本間弥十郎, 影向三十郎, 大屋平左衛門, 大場忠三郎			飛地冊子あり	
			上山田	明治23年12月	直地弁次郎	金子甚十郎		飛地冊子あり	
			大崎	明治23年5月	葛原五平	草木治郎平	川内鬼太郎		
			滝平	明治22(27)年4月	駒形亀次郎	川内鬼太郎	川上関蔵	明治22年とある上から7と書き換え	
	西三川村	亀ノ背村	村山	明治23年12月	畠野宰助	有田鶴松	若林助太郎		
			小泊	明治22年5月	金子助九郎, 山田喜一郎	岡崎松伊	安藤真吉		
亀脇			明治21年5月(凡例は明治22年5月)	金子助九郎, 山口茂吉	笠井由蔵	安藤真吉			
赤泊村	川茂村	外山	明治26年11月	笹倉熊太郎, 山口茂吉	加藤与八郎	金子清三郎			
		上川茂	明治26年3月	小林元四郎	池野与一郎	風間安右衛門			
		下川茂	明治22年4月, 5月, 明治23年4月	伊達吉直, 山田喜一郎	風間彦三郎	風間安右衛門			
	真浦村	大杉	明治21年12月	有田田六					
		杉野浦	明治22年1月	榊谷国松(三島郡寺泊町), 山口茂吉					
		新保	明治22年1月	山口茂吉, 菊地吉蔵, 渡部初太郎, 渡部忠造, 渡部金吾					
		柳沢	明治22年1月	榊谷国松, 山口茂吉					
	赤泊村	徳和村	赤泊	明治22年11月	山田喜一郎	中川長三郎	田辺九郎平		
			徳和	明治27年1月	山口茂吉	渡部謙平	羽豆太郎三郎		
			三川	明治22年8月	山口茂吉, 藤原謙太郎	近藤栄蔵	猪股弥平	山口茂吉の代印もあり	
	両津市	岩首村	岩首村	薙場		榊谷国松	矢下田源五郎	猪股弥平	
				岩首		大道善観	記載なし	記載なし	
東鷲嶋				明治22年12月	尾竹樑吉	北野猪之吉	記載なし		
柿野浦				明治21年12月	長瀧寅吉	佐藤五良吉	記載なし		
豊岡				明治23年4月, 明治25年3月再調製	加藤易三, 柳川権左右	伊藤甚蔵	石塚孫三郎	再調製は一部のみ	
立間		柳川権左右	本間茂吉	石塚孫三郎					

両津市	水津村	水津村	赤玉	明治 22 年 1 月	今井作次郎			全図 (3000 分の 1) あり		
			鮑	明治 22 年	斎藤隆三郎, 小森平治					
			東立島	明治 23 年 8 月	小嶋嘉平	菊池泰造	織田権七			
			東強清水	明治 21 年 11 月				全図あり (明治 23 年 6 月調製, 分見師 西蒲原郡矢作村大字矢作 第四拾壹番戸 小森平治, 製図者 西蒲原郡大字田中新田第四番戸 斎藤隆三郎, 製図者 西蒲原郡大字矢作第八拾三番戸 柳川権左右)		
			野浦	明治 23 年, 明治 21 年 11 月	白杵喜太郎, 山形龍太郎, 白杵喜太郎			全図あり (年不詳, 製図者白杵喜太郎)		
			月布施	明治 22 年 4 月	今井総次郎			全図 (3000 分の 1: 明治 22 年 4 月調製, 製図者今井総次郎) あり。		
			片野尾	明治 39 年						
	河崎村	富岡村	大川	水津	明治 23 年 8 月	新保吉三郎	織田嘉蔵	織田権七		
				大川	所在不明					
				羽二生	明治 23 年 8 月, 10 月, 11 月	藍原儀八	甲斐八百八	本間七次郎		
		河崎村	河崎村	川崎	両尾	明治 23 年 6 月	新保秀治郎	織田弁次郎	本間七次郎	
					権泊	明治 22 年 9 月	新保秀治郎	権善蔵	本間七次郎	
			明治村	川崎	川崎	明治 24 年 7 月	菊部清三郎	白井新蔵	松木伊与吉	昭和 3 年 2 月 (製図者猪股角蔵, 河崎区長 池甚吉, 河崎村長 角坂二吉) のものもあり。
					下久知	明治 24 年 7 月 21 日, 28 日	粕谷為三郎	熊谷太市郎		
					久知河内	明治 24 年 6 月 20 日	粕谷為三郎	菊池亀吉	三国五郎次	
					城腰		今井総次郎			
					原黒		品川富士松	松永佐太郎, 藤井五郎吉, 藤井音吉, 本間佐七	三国五郎次	
	住吉	明治 24 年 6 月 20 日, 24 日, 7 月 15 日	粕谷為三郎	石川弥八, 石川伝五郎, 石川九平, 石川源吉, 近藤甚作						
	吾湯村	吾湯	明治 23 年 2 月	新保吉三郎	土屋八代作	菊池小市				
	吉井村	長江村	長江	長江	明治 23 年 12 月	市橋栄吉	高野久蔵	伊藤久四郎		
				上横山	明治 22 年 6 月	戸田清之助	神蔵新八郎	伊藤久四郎		
				下横山	明治 22 年 5 月	戸田清之助	加藤昌雄	伊藤久四郎		
		秋津村	秋津	秋津	明治 27 年 12 月	伊藤仁作	古堀文次郎, 木下富蔵, 伊藤与市, 本間長十郎	横地寿一		
				湯端	明治 28 (23) 年 10 月	市橋栄吉	伊賀長四郎, 甲斐多吉, 甲斐伝三郎, 池野儀平	伊藤清一 (助役), (池田球蔵)	池野の名の上から紙が貼られ, 伊賀の名が書かれる。明治 28 の 8 は 3 が抹消された上から書かれている。助役の名も池田球蔵の名が抹消された上から書かれている。	
		吉井村	立野	立野	明治 22 年 8 月	戸田清之助	野尻森平, 原仁作	長野三忠		
				旭	明治 23 年 8 月	小山常蔵	関口七郎平, 田中弥太郎, 田中磯吉	長野三忠		
	両津町	湊町	湊	明治 21 年 12 月	竹内啓光			大正 2 年 1 月謄写 (製図者吉田新吉)。全図 (3000 分の 1) あり。		
夷町		夷	明治 23 年 11 月	三浦公明 (加茂郡吉井村共営社員)	白須甚右衛門, 佐野喜平次, 岩原伊三次, (中田友吉, 本間平吉)	土屋六右衛門	大正 2 年 1 月謄写 (製図者 吉田新吉)。昭和 36 年 11 月謄写図 (地図作製者 土地家屋調査士 高橋輝雄) もあり。			
加茂村	加茂歌代	加茂歌代	明治 23 年 9 月, 10 月, 明治 24 年 10 月, 明治 24 年	大島虎吉	斎藤善十郎, 伊藤勘五郎	榎武吉				
	梅津村	梅津	明治 24 年 8 月	高橋清一郎	伊藤竹次郎	市橋藤蔵	山林図冊子あり (大正 5 年 1 月調製, 賀茂村長本間太郎八, 総代高橋玉蔵, 製図者市橋茂三郎)			
	羽吉村	羽吉	明治 28 年 12 月 (27 年 7 月を朱線抹消)	市橋文内 (羽吉村)	佐々木三七郎, 高橋八代吉	高井兵次 (土屋元次を朱線抹消)				

両津市	加茂村	羽吉村	椿						
		内浦村	北五十里	明治26年6月	吉田耕太郎	本間惣十郎, 瀬波八十郎, 本間五吉郎	土屋元治	山林図冊子あり(大正12年1月調製, 賀茂村長市橋茂市, 総代濱田八十次, 本間永吉, 木下玉太郎, 製図者市橋茂三郎)	
			白瀬						
			玉崎	明治24年1月	木下万太	後藤貞蔵	岩城作太郎		
			和木	明治26年10月	木下万太	高橋与四平, 石塚林平, 久保栄蔵	岩城作太郎	山林図の冊子あり(大正4年2月13日調製 吉田新吉)	
			馬首	明治26年11月	木下万太	本間太一	岩城作太郎		
			北松ヶ崎	明治23年8月	吉田耕太郎	菊地惣吉, 斎藤多中	岩城作太郎		
			平松	明治23年8月	忠平栄太郎	平片乙次	岩城作太郎		
	浦川	明治22年12月	吉田耕太郎	佐藤庄平	岩城作太郎				
	内海府村	内海府村	歌見	明治27年10月	木下万太	家田権三郎	岩城作太郎		
			黒姫	明治22年5月	市橋栄蔵	佐藤光五郎	佐藤四郎平		
			虫崎	明治23年11月5日	小泉信(五十里町字籠町)				
			北小浦	明治22年12月	川上広次, 米津作蔵	川端仲蔵	佐藤四郎平	大正3年9月謄写 吉田新吉 の印あり	
			見立	明治22年7月	市橋栄蔵	山田千次郎	佐藤四郎平	大正3年9月謄写 吉田新吉 の印あり	
			鷺崎	明治22年10月, 11月, 12月	市橋栄蔵	瀧本庄吉	佐藤四郎平		
			願	明治22年12月	杉山愛三	川上梅蔵, 本間大郎, 斎藤東作			
	外海府村	外海府村	北鷺嶋	明治22年12月	杉山愛三	水本勝蔵, 土屋民蔵, 山本与七			
			真更川	明治23年7月	本間兼司	濱口猪次郎	田上績		

別表2 『相川町字図』所収地籍図一覧

町名	図幅タイトル	調整年	製図者	地主惣代	町村長等	備考
羽田町	大字羽田町全図	明治21年9月	杉山熊[]	加藤[], 渡部[], 杉山[]		破損のため読めず
江戸沢町	雑太郡相川江戸沢町全図	明治21年10月	山本二八郎			
一丁目	雑太郡相川壹丁目全図	明治21年10月	山本二八郎(相川三丁目)			
一丁目裏町	雑太郡相川壹丁目裏町全図	明治21年10月	山本二八郎			
新材木町	雑太郡相川新材木町全図	明治21年10月	杉山熊太郎	岩佐嘉伊蔵, 瀬下金太郎, 木嶋篤平		
材木町	雑太郡相川材木町之図(裏書)	明治21年9月	杉山熊太郎	今井増蔵, 藤村三平, 相馬儀太郎		
板町	雑太郡相川板町之図	明治21年10月	杉山熊太郎	小林市蔵, 平井金太郎, 本間三平		
塩屋町	雑太郡相川塩屋町之図	明治21年10月	杉山熊太郎	早川勇達, 渡部祐助, 小池又平		
石扣町	雑太郡相川石扣町之図	明治21年9月	杉山熊太郎	中堀春蔵, 布田登吉		
小六町	雑太郡相川小六町之図	明治21年10月	杉山熊太郎	笠井五平, 山田信蔵, 小林勘四郎		
新西坂町	雑太郡相川町新西坂町之図	明治21年9月	杉山熊太郎	中堀春蔵, 布田登吉		
下寺町	雑太郡相川下寺町全図	明治21年10月	山本二八郎			
五郎左衛門町	雑太郡相川五郎左衛門町全図	明治21年10月	山本二八郎			
市町	雑太郡相川市町之図			市川兵七, 木村貝蔵, 佐々木廉蔵		
三丁目新浜町	雑太郡相川三丁目新浜町全図	明治21年10月	山本二八郎			
三丁目	雑太郡相川三丁目全図	明治21年10月	山本二八郎	川嶋立蔵, 山本二八郎		
三丁目浜町	雑太郡相川三丁目浜町全図	明治21年10月	山本二八郎			
四丁目	雑太郡相川四丁目全図					
二丁目	雑太郡相川二丁目全図	明治21年10月	山本二八郎			
二丁目浜町	雑太郡二丁目浜町全図	明治21年10月	山本二八郎			
二丁目新浜町	雑太郡相川二丁目新浜町全図	明治21年10月	山本二八郎			
下戸町	雑太郡相川町大字下戸町全図			西山清蔵, 山田輝吉, 山田篤三郎		

下戸浜町	佐渡郡相川町大字下戸浜町全図	明治 29 年 12 月	鈴木亨治	山本三次, 中村品吉, 山本国藏	森知幾 (相川町長)
下戸炭屋浜町	雑太郡相川下戸炭屋浜町全図				
馬町	雑太郡相川馬町之図	明治 21 年 10 月		野田嘉吉, 本間六平	
坂下町	雑太郡相川坂下町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	杉山啓次, 浅香周次郎, 松本喜三次	
濁川町	雑太郡相川濁川町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	浅見副詮, 喜多清次郎, 谷口忠作	
紙屋町	佐渡郡相川町大字紙屋町図面	明治 29 年 12 月	山本亀藏	中山北治郎, 中島七平, 近藤半五郎	
炭屋町	雑太郡相川炭屋町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	山本伊三吉	
大間町	雑太郡相川町之内大間町全図	明治 21 年 月	古土平次郎	伊藤与八, 大隅季太郎, 渡邊三郎平	
水金町	佐渡郡相川町大字水金町全図	明治 30 年 11 月	井関伯次	青柳雄三, 田近愛藏, 上田米藏	
上京町	上京町全図		山尾次七 (上京町)		
中京町	雑太郡相川中京町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	安達八十吉, 池田栄二郎, 増井泰藏	
下京町	雑太郡相川下京町之図	明治 20 年 9 月	杉山熊太郎	中川庫吉, 田中利平治, 藤井太左衛門	
八百屋町	雑太郡相川八百屋町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	田中利平治, 藤井太左衛門, 中川庫吉	
会津町	佐渡郡相川町大字会津町全図	明治 30 年 6 月	柏村末吉	高橋与一, 高橋貞藏	
味噌屋町	雑太郡相川味噌屋町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	藤井太左衛門, 田中利平治, 中川庫吉	
長坂町	相川町大字長坂町全図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	本間林藏, 藤井代次郎, 渡部卯三郎	
西坂町	佐渡郡相川町大字西坂町之図	明治 21 年 9 月	山田奥手	渡部卯三郎, 本間林藏, 藤井代次郎	
夕白町		明治 21 年 7 月		渡部松次, 村上元治, 菊池芳造	
四十物町	雑太郡相川四十物町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	小林兼次郎, 小池虎藏, 中川喜三郎	
米屋町	雑太郡相川米屋町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	黒田透, 本間利吉, 松本文五郎	
左門町	雑太郡相川左門町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	味田金吾, 富田三太郎, 本間伊之吉	
大床屋町	雑太郡相川大床屋町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	味田金吾, 富田三太郎, 本間伊之吉	
六右衛門町	雑太郡相川六右衛門町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	味田金吾, 富田三太郎, 本間伊之吉	
新五郎町	雑太郡相川新五郎町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	田中松藏, 山本初五郎, 佐々木幸次郎	
大工町	雑太郡相川大工町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	有田善吉, 菊池作藏, 高田□三郎	破損のため読めず
次助町	雑太郡相川次助町之図, 雑太郡相川次助町飛地之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	金子甚平	
上相川町	雑太郡相川上相川町外拾壹ヶ町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	青柳茂作, 小林弥三吉	
南沢町					
小右衛門町	雑太郡相川小右衛門町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	青柳茂作, 小林弥三吉	
嘉左衛門町	雑太郡相川嘉左衛門町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	堀田金次, 林増藏	
柄杓町	雑太郡相川柄杓町之図	明治 21 年	杉山熊太郎	青柳茂作, 小林弥三吉	
奈良町・茶屋町	雑太郡相川奈良町茶屋町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	青柳茂作, 小林弥三吉	
宗徳町	雑太郡相川宗徳町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	堀田金次, 林増藏	
五郎右衛門町	雑太郡相川五郎右衛門町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	堀田金次, 林増藏	
清右衛門町	雑太郡相川清右衛門町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	堀田金次, 林増藏	
庄右衛門町	雑太郡相川庄右衛門町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	渡部伊太郎, 杉山玖太郎, 小林大吉	
諏訪町	雑太郡相川諏訪町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	小林留吉, 高橋富藏	
上寺町	雑太郡相川上寺町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	金子甚平	
中寺町	雑太郡相川中寺町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	上西長十郎, 竹田多四郎, 土田善六	
下戸炭屋裏町	雑太郡相川下戸炭屋裏町之図			田畑泰藏, 中川弥平次	
下戸炭屋町	雑太郡相川下戸炭屋町之図			田畑泰藏, 中川弥平次	
北沢町	雑太郡相川北沢町之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	浅香周次郎, 杉山啓次, 松本喜三次	
柴町	新潟県佐渡国雑太郡相川柴町図	明治 20 年 8 月		山本作十郎, 本間駒次郎, 井関才平	
弥十郎町		明治 21 年 7 月		菊池芳造, 古森伊之吉, 村上元治	
一丁目浜町	雑太郡相川壹丁目浜町丈量絵図	明治 19 年 8 月		田中太十郎, 西山忠五郎, 伊藤嘉十郎	
下山之神町	雑太郡相川下山之神之図	明治 21 年 9 月	杉山熊太郎	浅香周次郎, 杉山啓次, 松本喜三次	
海士町	雑太郡相川海士町之図			磯西甚藏, 巖川三次郎, 陰山定次郎	